

第5次杉戸町総合振興計画策定に係る

まちづくり町民会議

【平成22年度報告書】

平成22年10月

第5次杉戸町総合振興計画策定まちづくり町民会議

目次

1	まちづくり町民会議の概要	1
(1)	実施の目的	1
(2)	平成22年度まちづくり町民会議の活動内容	1
(3)	ワークショップとは	1
(4)	参加者について	1
(5)	部会の構成について	2
(6)	第5次杉戸町総合振興計画策定まちづくり町民会議設置要綱	2
(7)	まちづくり町民会議委員一覧	3
2	第1回まちづくり町民会議	4
(1)	会議内容・次第	4
(2)	ワークショップの進め方	4
3	第2回・第3回まちづくり町民会議	6
(1)	会議内容・次第	6
4	第4回まちづくり町民会議	8
(1)	「第5次杉戸町総合振興計画等に係るまちづくり町民会議」プログラム	8
(2)	パネルディスカッション参加者	8
5	ワークショップの成果（「第5次杉戸町総合振興計画基本計画検討原案」に対する意見・提言等）	12

1 まちづくり町民会議の概要

(1) 実施の目的

まちづくり町民会議は、住民の中から募集等を行い（職員も参加）、平成 21 年度は、4 回の会議の実施を通じて、これからの総合振興計画のあり方に関する研修会や町内公共施設視察、ワークショップの実施による新しいまちづくりへの期待と課題と分野別の重点方向について検討を行いました。

そして、平成 22 年度は、前年度と同様、4 回の会議の実施を通じて、新しいまちづくりの方向について多様に検討し、住民の代表による意見・提言として取りまとめ、総合振興計画前期基本計画に反映させるために実施しました。

(2) 平成 22 年度まちづくり町民会議の活動内容

	テーマ	主な内容	開催日
第 1 回	基本構想案の説明と意見交換	完成した基本構想案を報告し、意見交換をしてもらいました。 基本構想案の構成資料とともに基本計画シートをたたき台として分野ごとの主要施策、成果指標、協働の指針を検討してもらいました。	平成 22 年 7 月 24 日 (土)
第 2 回	分野ごとの施策、協働の指針の検討 【ワークショップ ^{注1} 】	基本構想案の構成資料とともに基本計画シートをたたき台として分野ごとの主要施策、成果指標、協働の指針を検討してもらいました。	平成 22 年 8 月 7 日 (土)
第 3 回	分野ごとの施策、協働の指針の検討 【ワークショップ】	基本構想案の構成資料とともに基本計画シートをたたき台として分野ごとの主要施策、成果指標、協働の指針を検討し、第 1 回～第 3 回の検討結果を取りまとめてもらいました。	平成 22 年 8 月 21 日 (土)
第 4 回	全体報告会 【パネルディスカッション】	第 3 回で取りまとめた各分野の協働の指針を部会ごとに報告・発表するとともに、パネルディスカッションでは、住民の代表者をパネラーとして迎え、新しいまちづくりに関する意見交換をしてもらいました。	平成 22 年 9 月 18 日 (土)

注 1 右記参照。

(3) ワークショップとは

ワークショップとは会議の一種で、その語源は、ワーク（work＝手などを使って何かを作り上げる動作）とショップ（shop＝場所）を組み合わせたもので、直訳すれば、仕事場、作業場、工房という意味です。まちづくりの分野では、「地域の問題を多くの住民がそれぞれの年齢や社会的な立場にとらわれることなく、対等な関係で話し合い、創造的に自己解決していくための場」と捉えられており、日本でも 1990 年代から、全国で様々な「まちづくりワークショップ」が開催されています。

ワークショップでは、「各回に目的を設定し、メンバー同士が創造的な発言を自由におこなって意見交換をし、立場や意見の違いを相互に理解し合う中で、問題を解決するための合意形成を図っていくこと」に重点がおかれます。

近年、先進自治体においては、計画策定時等にワークショップ手法を取り入れる試みが増えてきています。本町においては、新しい計画づくりに住民が参加する機会を、無作為抽出による参加者募集とそれに応えて参加していただく手法（ドイツを中心にヨーロッパで広く実施されている市民参加の手法を参考にしている。－「ブラーヌンクスツェレ（ドイツ語で「計画細胞」）」を取り入れることとしました。

また、議論の過程では、付せん紙（ポストイットカード）を使用して、参加者全員がポストイットカードに意見を記入し、それを提出することによって平等に発言し議論できるようにしていく環境の中で、提出された意見を見ながら、それを尊重し自由に発想を広げて行くことによって、この会議の最適な結論を導き出していきたいと考えています。

本町では、計画策定にあたっては、住民との協働の視点に立ち、住民と行政による「住民と共有し、共に取り組む計画」を目指します。

(4) 参加者について

- ①無作為抽出で依頼し、参加を希望した人の中から選考された方
- ②各種団体の代表者等
- ③町職員

(5) 部会の構成について

ワークショップのグループ分けは、1グループ6～8名程度で計5部会とし、各種団体、性別等を考慮してグループ編成（平成21年度と同様）を行いました。

部会名	担当分野の施策
健康福祉部会	【基本施策2 みんなに優しく、思いやりのあるまち】 1. 保健・医療 「1-1. 自らの健康づくりの推進」「1-2. 地域医療体制の充実」 2. 地域・高齢者・障がい者福祉 「2-1. 地域福祉の推進」「2-2. 高齢者福祉の推進」 「2-3. 障がい者福祉の推進」「2-4. 社会保障の充実」 3. 子育て 「3-1. 子育て支援の充実」
環境基盤部会	【基本施策5 安心・安全で、やすらぎのあるまち】 1. 消防防災・交通防犯・消費者対策 「1-1. 消防・防災対策の充実」「1-2. 交通安全・防犯体制の充実」 2. 市街地・道路・交通 「2-1. 市街地・居住環境の整備」「2-2. 道路・交通網の整備」 【基本施策6 快適で、ゆとりのあるまち】 1. 環境 「1-1. 循環型社会の形成」「1-2. 環境の保全」 2. 上下水道・公園・緑地・水辺 「2-1. 上下水道の整備」「2-2. 公園・緑地・水辺の整備」
産業部会	【基本施策4 活力を育み、賑わいのあるまち】 1. 農業・工業・商業・勤労者対策 「1-1. 農業の振興」「1-2. 工業の振興」「1-3. 商業の振興」 「1-4. 勤労者福祉と雇用の充実」 2. 観光 「2-1. 観光の振興」 【基本施策5 安心・安全で、やすらぎのあるまち】 1. 消防防災・交通防犯・消費者対策 「1-3. 消費者保護対策の充実」
教育・文化部会	【基本施策3 人を育む、心豊かなまち】 1. 教育・生涯学習・スポーツ・青少年 「1-1. 幼稚園教育・学校教育の充実」「1-2. 生涯学習の推進」 「1-3. 生涯スポーツの振興」「1-4. 青少年の健全育成」 2. 文化・芸術 「2-1. 多様な文化・芸術活動の支援」
行政運営部会	【基本施策1 人をつなぎ、語らいのあるまち】 1. 参画・協働 「1-1. 協働によるまちづくりの推進」 「1-2. コミュニティ活動の推進」 2. 情報化・交流 「2-1. 情報化の推進」「2-2. 交流活動の推進」 3. 人権・男女共同参画 「3-1. 人権尊重社会の形成」「3-2. 男女共同参画社会の実現」 4. 行財政運営 「4-1. 行政サービスの向上と効率的行財政の運営」

(6) 第5次杉戸町総合振興計画策定まちづくり町民会議設置要綱

平成21年9月25日

告示第156号

(設置)

第1条 第5次杉戸町総合振興計画（以下「総合振興計画」という。）の策定に当たり、幅広く住民の意見を聴き、総合振興計画に反映させるため、第5次杉戸町総合振興計画策定まちづくり町民会議（以下「まちづくり会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 まちづくり会議は、次に掲げる事項について協議する。

(1) まちづくりに関すること。

(2) その他総合振興計画に関すること。

(組織)

第3条 まちづくり会議は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する委員50名以内をもって組織する。

(1) まちづくりに関心の高い者

(2) その他町長が必要と認めた者

(任期)

第4条 委員の任期は総合振興計画の策定が終了するまでとする。

(委員長、副委員長及び書記)

第5条 まちづくり会議に委員長、副委員長及び書記を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、まちづくり会議を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

4 書記は、会議内容について、記録し保存する。

(会議)

第6条 まちづくり会議の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(報告)

第7条 まちづくり会議の提言は、委員長が町長に報告する。

(庶務)

第8条 まちづくり会議の庶務は、秘書政策課において処理する。

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、まちづくり会議の運営に関し必要な事項は、委員長がまちづくり会議に諮って定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行し、まちづくり会議の提言の報告をもって、その効力を失う。

(7) まちづくり町民会議委員一覧

氏名	分類	所属
南 慶子	公募	健康福祉部会
小暮 顕	公募	
島田 武	公募	
大平 澄江	公募	
高橋 政江	公募	
渡辺 恙子	公募	
小河原 正隆	杉戸町障がい者協議会	
馬島 由美子	子育てネット・ぽっぽはうす	
佐藤 富美	杉戸町食生活改善推進員協議会	
中川 定雄	公募	環境基盤部会
山口 聡	公募	
宇田 光孝	公募	
中村 明	杉戸町交通指導員会	
木村 芳裕	すぎとエコグリーン	
川島 一浩 (副委員長)	杉戸町消防団	産業部会
上田 茂生	公募	
飯塚 久雄	杉戸町農業後継者対策推進協議会	
若菜 満枝	杉戸町くらしの会	
鈴木 豊 (委員長)	杉戸町商店会連合会	教育・文化部会
古我 貞夫	公募	
鈴木 國弘	公民館サークル団体連合会	
新井 ツナ子	杉戸町子ども会育成連絡協議会	
久保 憲夫	杉戸町体育協会	行政運営部会
落合 喜彦	公募	
松田 英雄	公募	
高田 房雄	杉戸町コミュニティ推進協議会	
渡辺 真理子	杉戸町国際交流協会	
押切 敦	すぎとSOHOクラブ	

2 第1回まちづくり町民会議

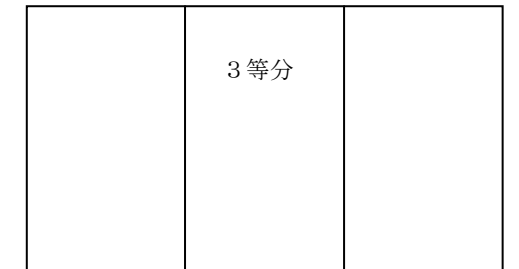
(1) 会議内容・次第

平成21年度に策定した「第5次杉戸町総合振興計画基本構想案」の内容報告等、これまでの総合振興計画策定に係る経過報告を行うとともに、各部会が担当分野の施策ごとに、協働の指針の検討等を実施しました。

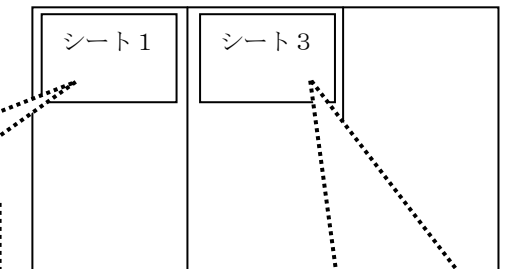
	開催日：平成22年7月24日（土）
	開催場所：杉戸町役場第2庁舎2階会議室
	開催時間：9時～12時
1 開会	
2 委員長あいさつ	
3 経過報告	◆第5次杉戸町総合振興計画基本構想案について
4 オリエンテーション	◆本日の内容・スケジュールの説明 ◆ワークショップの進め方
5 ワークショップ	◆基本計画・マネジメントシートの検討 ※「協働の指針」の検討及び「主要施策」、「成果指標」に関する意見・要望
6 閉会	

(2) ワークショップの進め方

◆机の上に模造紙を広げ、横を3等分する折り印を付け、3つの大きな枠をつくります。



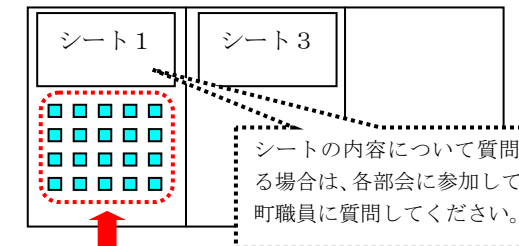
◆基本計画・マネジメントシート1と3を貼り付けます。



該当する施策についての現状と課題、対象と目的、施策の内容素案が書かれています。

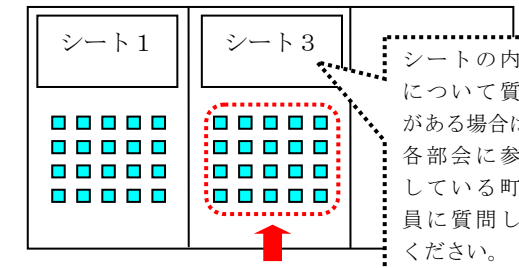
目指すべき成果指標（ベンチマーク）の初期値、中間（H27）・最終（H32）目標値、協働の指針の素案が書かれています。

◆基本計画・マネジメントシート1（施策についての現状と課題、対象と目的、施策の内容）の内容を読んだ上で、ポストイットカード1枚につき意見・要望1件を記入し、模造紙の所定の枠に貼り付けます。



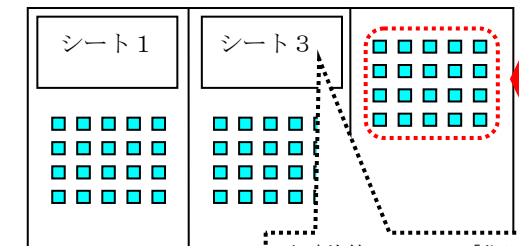
シートの内容について質問がある場合は、各部会に参加している町職員に質問してください。

◆基本計画・マネジメントシート3（成果指標（ベンチマーク）の初期値、中間（H27）・最終（H32）目標値）の内容を読んだ上で、ポストイットカード1枚につき意見・要望1件を記入し、模造紙の所定の枠に貼り付けてください。



シートの内容について質問がある場合は、各部会に参加している町職員に質問してください。

◆基本計画・マネジメントシート3（協働の指針）の内容を読んだ上で、ポストイットカード1枚につき「加えるべきこと」、「削除すべきこと」について意見1件を記入し、模造紙の所定の枠に貼り付けてください。



当該施策について、「住民」、「地域・団体・事業者」の役割として取り組む指針が書かれています。

【第1回まちづくり町民会議 経過報告・ワークショップの様態】



基本構想案について
経過報告



ワークショップの様態



部会ごとの討議



部会ごとの討議

3 第2回・第3回まちづくり町民会議

(1) 会議内容・次第

各部会が担当分野の施策ごとに、協働の指針の検討等を実施するとともに、第4回の全体報告会に向けた検討結果の取りまとめを行いました。

開催日：平成22年8月7日（土）
開催場所：杉戸町役場第2庁舎2階会議室
開催時間：9時～12時

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 オリエンテーション
 - ◆本日の内容・スケジュールの説明
 - ◆ワークショップの進め方
- 4 ワークショップ
 - ◆基本計画・マネジメントシートの検討
 - ※「協働の指針」の検討及び「主要施策」、「成果指標」に関する意見・要望
- 5 閉会

開催日：平成22年8月21日（土）
開催場所：杉戸町役場第2庁舎2階会議室
開催時間：9時～12時

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 オリエンテーション
 - ◆本日の内容・スケジュールの説明
 - ◆ワークショップの進め方
- 4 ワークショップ
 - ◆基本計画・マネジメントシートの検討
 - ※「協働の指針」の検討及び「主要施策」、「成果指標」に関する意見・要望
- 5 検討結果の取りまとめ
- 6 閉会

【第2回・第3回まちづくり町民会議 ワークショップの様相】



副町長あいさつ



委員長あいさつ



部会ごとの討議



部会ごとの討議

4 第4回まちづくり町民会議

(1) 「第5次杉戸町総合振興計画等に係るまちづくり町民会議」プログラム

第3回で取りまとめた各施策の検討結果を部会ごとに報告・発表してもらうとともに、パネルディスカッションでは新しいまちづくりに関する意見交換をしてもらいました。

開催日：平成22年9月18日（土） 開催場所：すぎとピア2階 多目的ホール 開催時間：13時30分～16時30分
【開会】
【第1部 経過報告】
◆これまでの取り組み （町民アンケート調査、現計画達成度調査、まちづくり町民会議）
◆講話：「現代の時代背景とこれからの総合振興計画」 （第5次杉戸町総合振興計画検討原案について）
◆まちづくり町民会議報告 （まちづくり町民会議の概要について、各部会からの報告）
【休憩】
【第2部 パネルディスカッション】
◆パネラー紹介 （町民アンケート調査、現計画達成度調査、まちづくり町民会議）
◆意見発表 （テーマ：「これからの杉戸町のまちづくりと私」）
◆パネルディスカッション （テーマ：「これからの杉戸町のまちづくりについて」）
【閉会】

(2) パネルディスカッション参加者

【パネラー】（敬称略）

所属	氏名
まちづくり町民会議	鈴木 豊
まちづくり町民会議	渡辺 真理子
NPO法人すぎと SOHOクラブ	押切 敦
埼玉県立杉戸高等学校	渡辺 康平
埼玉県立杉戸農業高等学校	佐藤 祐一

【コーディネーター】（敬称略）

所属	氏名
株式会社ぎょうせい総合研究所 主任研究員	矢野 武司

【第1部 経過報告の様相①】



町長あいさつ
(開会)



会場の模様



町事務局報告
(これまでの取り組み)



委員長報告
(まちづくり町民会議概要)

【第1部 経過報告の様相②】

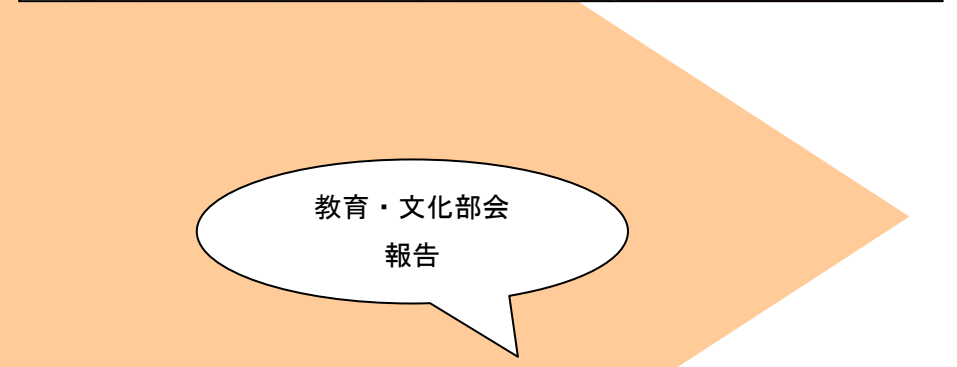


健康福祉部会
報告

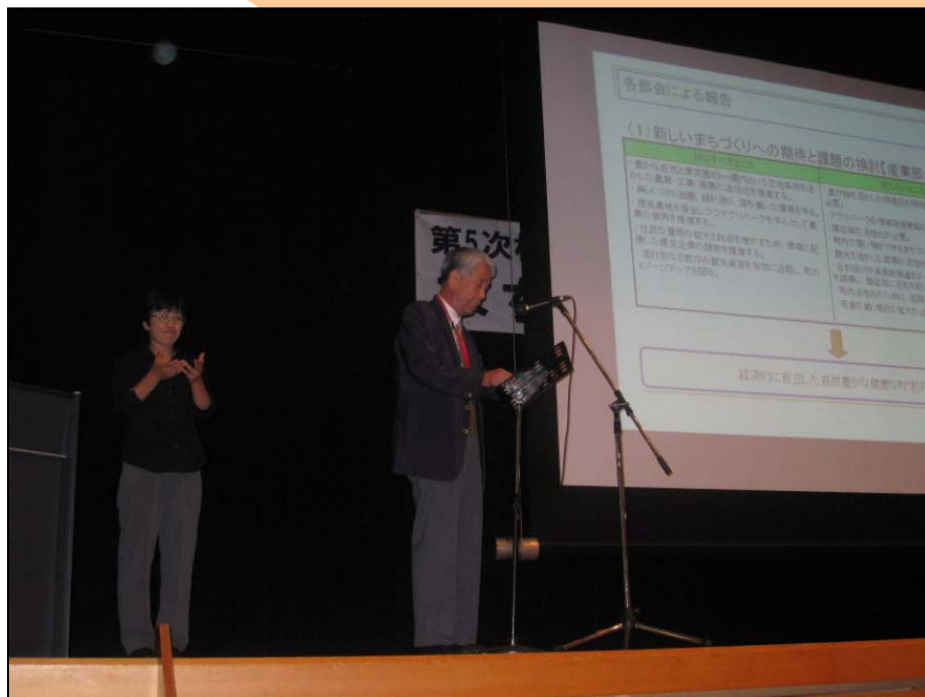
環境基盤部会
報告



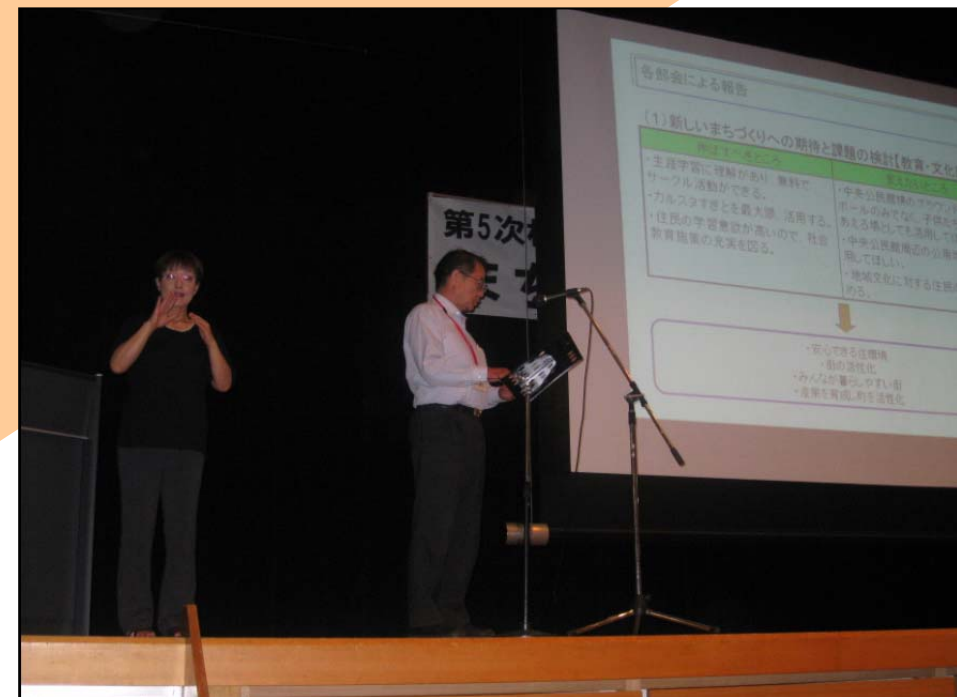
産業部会
報告



教育・文化部会
報告



行政運営部会
報告



【第2部 パネルディスカッションの様相】



パネルディスカッション
スタート！



これからの杉戸町の
まちづくりと私について
意見発表



これからのまちづくりに
ついてパネルディスカ
ッション



これからのまちづくりに
ついてパネルディスカ
ッション

5 ワークショップの成果（「第5次杉戸町総合振興計画基本計画検討原案」に対する意見・提言等）

【健康福祉部会】

基本施策	施策項目	施策	意見・提言等
基本施策2 みんなに優しく、思いやりのあるまち	1. 保健・医療	1-1. 自らの健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康増進につながるので、保健師さんの指導による健康相談の体制の充実を図る。また、自分自身の健康の状態を知るためにも、健康診断の充実を図る。 ◆健康体操、介護予防教室などの充実を図る。
		1-2. 地域医療体制の充実	◆24時間、安心して、病院にかかれる体制づくりをしてほしい。
	2. 地域・高齢者・障がい者福祉	2-1. 地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆近所付き合いが希薄になっている。 ◆一人世帯が複数世帯より多くなることが予想される。 ◆プライバシーの問題がある。 ◆高齢者や障がい者を隣近所等、みんなで支えあうような地域づくりが必要である。 ◆一人暮らしの高齢者等の把握と同時に、家族と暮らしている高齢者等も孤独にならないよう、訪問活動や相談体制を充実していく。 ◆老人会をはじめ、各種団体への参加を町としても加入を促し、人との交流を深めていく。
		2-2. 高齢者福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆町の業務をシルバー人材センターに頼む等、シルバー人材センターの仕事を確保していく。 ◆60歳以上の人を雇う企業を増やす。 ◆長寿世界一である日本の高齢者が安心して暮らせるまちづくりを。
		2-3. 障がい者福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆障がい者を雇用する企業を増やしていく。 ◆障がい者住宅の補助の充実を図る（バリアフリー化の助成制度）。 ◆移動サービスの充実。
		2-4. 社会保障の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会保障で負担すべきもの（年金、国保税、介護保険料等）を払っていない人には、厳しく徴収をしてほしい。 ◆社会全体で支えあう気持ちを普及・啓発する。
	3. 子育て	3-1. 子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆町の中心部に、保育園をつくれれば、預けやすい。 ◆保育園の定員増を図ってほしい。 ◆子育て相談事業の充実。

◎ まちづくり町民会議に参加しての感想

- ◆町の公共施設見学ができてよかった。
- ◆町の状況がよくわかった。
- ◆みんなが部会ごとにひとつの課題に向かって、話し合えたことがよかった。
- ◆職員がよく勉強しているのがわかって、よかった。

◎ まちづくりへの私の思い

- ◆移動手段を充実（町巡回バスの便を増やすなど、使いやすくしてほしい）させることによって、いろいろな関わりが持てる町にしたい。
- ◆住民間の暖かい交流がある町にしていきたい。



【環境基盤部会】

基本施策	施策項目	施策	意見・提言等
基本施策5 安心・安全で、やすらぎのあるまち	1. 消防防災・交通防犯・消費者対策	1-1. 消防・防災対策の充実	◆防災訓練はみんなで参加を。
		1-2. 交通安全・防犯体制の充実	◆巡回バスの運行コース、便数、料金は町民参加で決め、利用しやすいものに。
	2. 市街地・道路・交通	2-1. 市街地・居住環境の整備	◆田園・屋敷林は町民の財産 みんなで保存していく取り組みが必要である。
		2-2. 道路・交通網の整備	◆自転車で移動できる環境に配慮した道路整備を行う。
基本施策6 快適で、ゆとりのあるまち	1. 環境	1-1. 循環型社会の形成	◆生ごみの堆肥化に向けた取り組みが必要。 ◆町民を雇用しての生ごみの分別収集。 ◆地元建設業者を活用しての堆肥化施設の建設と雇用創出。 ◆できた堆肥の有機農業への普及。 ◆有機野菜の学校給食への使用など販路の確保と拡大。
		1-2. 環境の保全	◆杉戸町内で太陽光発電設置など自然エネルギーの利用に補助を。 (町内の事業者が町民を使って施工した時。) ◆町民が設置技術者になるときの研修に助成も。 (町民の雇用と仕事を確保。)
	2. 上下水道・公園・緑地・水辺	2-1. 上下水道の整備	◆上下水道、料金の設定の仕組みを町民に知らせ、値上げしなくて済む方法を町民も一緒に考える。
		2-2. 公園・緑地・水辺の整備	◆自然豊かな「全町公園」のまち。

◎ まちづくり町民会議に参加しての感想

- ◆役場の職員の仕事があった。
- ◆同じ町民のメンバーと話し合えてよかった。
- ◆杉戸町を考える機会になった。
- ◆計画を真剣に実行してくれるのか疑問もあるが、町民が直接意見を出せる仕組みができればいい。
- ◆町民も杉戸の見せたいところのマップをつくって町の良さを広めよう。

◎ まちづくりへの私の思い

これからの10年を住みよい杉戸町に

このままでは、温暖化、異常気象による災害の増加、高齢化、少子化、産業の空洞化、非正規の増加で雇用も所得もない時代になってしまう。

→持続可能な環境のための経済・生活の実現、元気な高齢者、子育て環境の整備、地域循環型経済で農業・地域商工業の維持・発展、雇用の機会拡大、生活できる所得が保障され、税金も確保される10年に

役場職員の役割は重要

役場職員は意識改革し、先進地の経験を生かし、専門性も磨き、町民の意見も聞き、町民に役立つ職員として力の発揮を

そして、都会にも近くて通勤もできる、という条件を生かし

自然豊かな「全町公園」のまちをイメージして

環境、くらし、世代、地域経済、雇用が持続可能なまち宣言 第1号に！



【産業部会】

基本施策	施策項目	施策	町民会議意見・提言等
基本施策4 活力を育み、賑わいのあるまち	1. 農業・工業・商業・勤労者対策	1-1. 農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ◆都市型農業（東京圏の顔の見える安全で新鮮な農産物の生産基地をつくる。）。 ◆アグリパークの機能を最大限活用するため、地産地消を活用した農産物の開発や地域特産品の研究等を進める。また、地域の情報発信機能を一層高める。 ◆学校給食で、できる限り、地元のものを使用する仕組みづくり。
		1-2. 工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ◆新たな産業団地の拡張を図る。 ◆県などと連携した企業誘致を進める。 ◆町内工業会、企業連絡会との連携による企業誘致を進める。
		1-3. 商業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ◆駅前通り、古利根川周辺を、町の商業の中心として整備する。 ◆魅力ある商店街による、リピーター増。 ◆杉戸の土産（特産品）の創出が必要。 ◆通信販売の導入など、販路の拡大。 ◆若い起業家を募る。
		1-4. 勤労者福祉と雇用の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆子供たちが、地元企業で働くことのできる学校と企業の連携が必要。 ◆関係機関と連携し、勤労者福祉の充実を図る。 ◆企業の社会的責任として社会参画してもらう。
	2. 観光	2-1. 観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ◆観光マップの作成などPRを充実させ、町内外にも積極的に町の情報を発信する。 ◆「流灯まつり」町民への周知と協働の依頼。 ◆流灯まつり等を通じて宮代町との連携を図る。 ◆南側散策道を観光資源として活用。 ◆流灯まつりに七夕まつりを併せて行う。
基本施策5 安心・安全で、やすらぎのあるまち	1. 消防防災・交通防犯・消費者対策	1-3. 消費者保護対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆警察との連携。 ◆事例の収集が必要。 ◆相談窓口等についてもっとPRした方が良い。 ◆消費者保護の観点とはずれるが、振り込め詐欺等についても対策を講じる。 ◆消費者としての自覚（知識なども）を持つ。

◎ まちづくり町民会議に参加しての感想

未経験の分野である地方行政、とりわけ第5次杉戸町総合振興計画等策定の一環を担う「まちづくり町民会議」に応募して参画したところです。

動機としては杉戸町在住10年を経過して杉戸町をもっと深く知りたい、また、「まちづくり」に、ささやかながら参画ができればとの思いでした。

折角の住民参加型の会議であり、住民目線で住民の声として現状では難しいと認識しつつ忌憚のない意見も述べさせていただきましたが、部会全員で考え・意見を出し合い、それについて議論ができたこと、一方で他部会の発表も聞くことができたことは大変有意義でした。まちづくりについての認識も一層深くなったと思っています。

現下の社会情勢は変化が激しい時代であり、現状に慢心することなく、時点、時点で時流にしなやかに対応しつつ目標の達成に向けて推進を図ることが不可欠だと思っています。

◎ まちづくりへの私の思い

産業部会委員の一員として、人口3,540万人を擁する東京圏・一都三県内で、しかも都心から40キロ圏に位置し、交通の便、自然環境、歴史的遺産にも恵まれた素晴らしい杉戸町の立地条件を活かし、農業・工業・商業・観光でバランスのとれた安心して住めるまちづくりができれば、との思いです。

一方、住民が求めるより良い地方自治を可変・柔軟・迅速に遂行するには、自治体においても経済的に自立していく必要があり、それに向けての施策も併せて推進することにより一層の効果が期待できるものと思っています。



【教育・文化部会】

基本施策	施策項目	施策	町民会議意見・提言等
基本施策3 人を育む、心豊かなまち	1. 教育・生涯学習・スポーツ・青少年	1-1. 幼稚園教育・学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習に関わる各公民館の利用者認定団体については、使用料を無料とし、町民相互の親睦と文化の向上に努める。 ◆西地区の小学校を1つにして、残った方を中学校にするという案があったように聞いているが、実際に可能ならいい意見だと思う。 ◆食の安全、身体の安全に関するものは、優先的に進める必要がある。 ◆町立図書館と学校図書館の蔵書データの共有化を進めた方がよい。 ◆幼稚園に限らず、教職員数は十分に確保することが必要。
		1-2. 生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆公民館サークルの数は減り、会員も減っている状態であり、使用料無料を継続してほしい。 ◆中央公民館、西公民館等の使用頻度が高いところは、増改築等の必要性あり。 ◆杉戸町にゆかりの芸能人や有名人リストがあれば、生涯学習の一助になるのではないか。
		1-3. 生涯スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ◆費用対効果を考えると、ふさわしくない施設もあるのではないか。体育施設が有効利用されていないのではないか。 ◆経費をかけてまで、スポーツ教室参加者数を増やす必要があるのか。 ◆体育協会の加盟団体を増やす必要がある。 ◆生涯スポーツの活性化が望まれる。
		1-4. 青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆ジュニアリーダー研修会の参加者数を増やし、ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒数を増やしていく。 ◆青少年の健全育成が必要である。 子供たちが、健全に成長できるよう、地域で見守るべきである。 子供たちの非行防止のため、団体と協力し、街頭指導の充実を図った方がよい。
	2. 文化・芸術	2-1. 多様な文化・芸術活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆多様な団体へ、みんなでつくるまちづくり支援事業の継続。 ◆郷土愛や文化への関心を高める必要がある。

◎ まちづくり町民会議に参加しての感想

この度、公民館サークル連合会より推薦され、初めてこのような会合に参加致しました。

各部門に別れて問題点を検討するのは合理的で良いと思われましたが、生活面で共通した項目もあり、相反する意見の方も多数いるのではないかと思います。

もう少し、他部門との交流・ディスカッションの時間を設けたほうが、より住民の声が反映するのではないかと、また、開催日も一考ありと思う。

例) お祭りの日の開催、参加者が非常に少なかった。

でも、町の現状を再認識でき、非常に有意義な時間でした。

◎ まちづくりへの私の思い

この町に移住して40年余り家の廻りは、田んぼで民家はあまりなく、夜は蛙の合唱がうるさくて寝つかれない日もありましたが、今は、民家に囲まれ街灯がつき、雨が降ると水があふれた農業用水もフタをされ、下水道も快適な生活を営む事ができ満足しておりますが、町内の公共交通機関が不便でもう少し、隣接の市町村と協力して、町営のバスの柔軟な運行整備を望みます。

また、健康的で、安価な産直の農産物を食し、生涯学習を老後の生活にも反映できる文化的な町になってほしい。



【行政運営部会】

基本施策	施策項目	施策	町民会議意見・提言等
基本施策 1 人をつなぎ、語らいのあるまち	1. 参画・協働	1-1. 協働によるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆広報紙の配布方法について、統一を図る。 ◆広報紙に最新の情報を掲載する。 ◆ボランティアの人材育成。 ◆参加しやすいボランティアの環境づくり。
		1-2. コミュニティ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニティ活動の支援。 ◆あいさつ運動の実施。 ◆各コミュニティ団体の交流。
	2. 情報化・交流	2-1. 情報化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆広報紙に最新の情報を掲載する。 ◆すぎめ一の充実を図る。
		2-2. 交流活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆国際交流及び国内交流の推進を図る。 ◆英語教育の充実を図る。 ◆各種団体へ交流への参加を促す。 ◆町民への活動内容のPR。
	3. 人権・男女共同参画	3-1. 人権尊重社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者や児童への虐待が問題化している。 ◆人権教育の継続を図る。 ◆道徳教育の充実を図る。
		3-2. 男女共同参画社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ◆男女共同参画に対する意識が浸透してきた。 ◆女性リーダーの育成。 ◆女性が参画しやすい環境づくり。 ◆さらなる男女共同参画への啓発。
	4. 行財政運営	4-1. 行政サービスの向上と効率的行財政の運営	<ul style="list-style-type: none"> ◆職員人件費の削減を進める。 ◆議会議員の削減を進める。 ◆幼稚園の統合を進める。 ◆公共施設の有料化を進める。

◎ まちづくり町民会議に参加しての感想

町に対しての皆さんの熱い思いを感じられた。まだ、改良すべきことが多いし、変わっていくことで、若い人たちが住みよい町になると思う。これによって大きく変わっていく明るい町を期待する。

杉戸町の内容が徐々に分かってきた。これから沢山改善・改革する余地が見られるので、できる限り出席し、意見を述べたい。町の発展のため、頑張ろうとしております。とても参加してよかった。

大変、勉強になった。逆に勉強不足でした。

◎ まちづくりへの私の思い

杉戸町は何もない町から始まって、今はこれから変えていける町だと思えた。個々が、自分の町意識を持って好きになっていくのではないかと思う。皆でつくっていく住みよい杉戸町でありたい。

人口が減っていくので若い人が地元で働けるよう工業団地等誘致していくとよい。通学路整備・公園の整備・既存建物の見直し・太陽光ソーラーの設置・町会議員の削減。

若い人への期待を大きくした。若い人の意見を聞きたい。元気な高齢者の負担が軽すぎる。

